

政務活動記録簿（県外・県内視察）

会派・議員名 自民党倭

年 月 日	令和5年1月17日				
政務活動先	① 榛生昇陽・大宇陀高等学校（宇陀市榛原下井足210） ② うだ・アニマルパーク（宇陀市大宇陀小附89）				
政務活動の目的	ふるさと納税を活用した教育振興、動物愛護の現状と問題点について調査・研究し、今後の政務活動の参考とする。				
相手方	① 榛生昇陽・大宇陀高等学校 田中教頭ほか ② うだ・アニマルパーク 藤井振興監、葛本室長ほか				
内容、結果等 ※視察の効果を 明記のこと	<p>自民党倭会派として、ふるさと納税を活用した教育振興の実例である榛生昇陽・大宇陀高等学校クラブハウス榛陽館を見学。また、創立百周年に向けた同校の取り組みや特色ある高校教育、クラブ活動の様子などの説明を受けた。宇陀市では、ふるさと納税を活用した教育振興の事例が多数あり、今後の教育施策の事例として参考になった。</p> <p>うだ・アニマルパークでは、家族連れなどをはじめとした県民に好評な施設の見学、動物愛護活動の現状と問題点について担当者を懇談を行った。県民の関心が高い問題であり、今後に向けた計画的な取り組みが必要であると考えます。</p>				
視察活動に要した経費	行先	利用交通機関	利用区間	金額	領収書番号
	議会棟～ 宇陀市内 ～議会棟	小型バス貸切		53,900 円	44
	宿泊費		円 内訳：		
	会費		円 内訳：		
	合計	53,900	円（	）	
備考					

注 視察先で入手した資料や写真等を添付してください。

自民党倭 現地調査日程

1. 調査期日 令和5年1月17日(火)

2. 調査先①奈良県立榛生昇陽・宇陀高等学校(宇陀市榛原下井足210)

Tel 0745-82-0525

②うだ・アニマルパーク(宇陀市大宇陀小附89)

Tel 0745-83-2563

3. 日程 集合時刻・場所 1月17日(火) 12:15 議会等玄関前

場所	時刻(着)	(発)	備考
議会棟玄関前	12:15	12:30	マイクロバス乗車
① 奈良県立榛生昇陽・ 宇陀高等学校	14:00	15:00	クラブハウス「榛陽館」見学 対応: <u>田中教頭</u>
② うだ・アニマルパーク	15:20	16:10	施設見学 対応: 森口補佐 藤井振興監、米田次長、 葛本室長
議会棟玄関前	17:30		

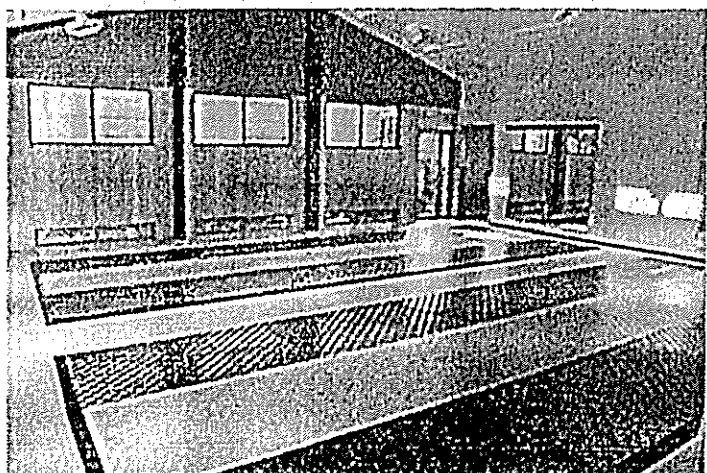
参加メンバー

自民党倭(議席番号順)

浦西議員、山本議員、奥山議員、岩田議長、小泉議員(5名)

部活がんばる後輩たちへ オービック会長が即決したクラブハウス寄贈

2022年12月23日朝日新聞



衝撃を吸収するマットが敷き詰められたトレーニング室

奈良県立榛生昇陽高校・宇陀高校(宇陀市榛原下井足)の敷地内に部活動の拠点となるクラブハウス「榛陽館(はるひかん)」が完成した。

前身の榛原高校の卒業生でオービック会長の野田順弘(まさひろ)氏が建設・寄贈した。



2年前に当時の校長だった田淵泰央氏(現・宇陀市教育長)が東京のオービック本社に野田氏を訪ね、「全国的にも強い自転車競技部やウエイトリフティング部などの生徒をインターハイ(全国高校総体)で優勝させてやりたいのですが、インフラが足りません。創立100周年(2023年)に向けて、ご協力いただけませんか」とお願い。

野田氏は「はい、私が全部させていただきます」と二つ返事だったという。



ここから話が進み、トレーニングやミーティング、合宿もできる2階建てのクラブハウス(延べ床面積499.42平方メートル)が今年3月1日に着工し、このほど完成した。



創立百周年記念 特別号

奈良県立榛生昇陽高等学校等
創立百周年記念事業実行委員会

事務局
奈良県立榛生昇陽高等学校内
〒633-0241
奈良県宇陀市榛原下井足 210 番地
電話:0745(82)0525
令和4年9月 発行

祝 人生の基礎を育ててくれた母校の100年に

奈良県立榛生昇陽高等学校等

創立百周年記念事業実行委員会委員長・同窓会長 **今井 啓之**
(榛原高校第14回卒業)



皆様方におかれましては、恙なくお過ごしのことと存じあげます。

平素から同窓会活動及び母校の教育諸活動にお力添えを賜り、感謝申し上げます。

母校は、大正12年4月の宇陀高等女学校の創立から、大正、昭和、平成、令和の時代を辿りながら100年の星霜を刻み、輝かしい歴史と伝統を積み重ねてきました。万余の若人が人としての基礎基本を学びながら、様々な思い出深い青春時代を送られ、その中で切磋琢磨した一人一人が同窓会員の皆様であります。

そして、本年度、県立大宇陀高等学校と再編統合され、宇陀の地で唯一の県立宇陀高等学校として、新たな一歩を踏み出しました。来年、令和5年は母校創立100周年という年を迎え、「100年の歴史 新たな舞台へ」のスローガンのもと、同窓会、育友会、榛生会の各役員と学校教職員の四者で構成する創立百周年記念事業実行委員会を令和2年に立ち上げ、5つの専門委員会(総務、記念誌編纂、行事・記念式典、募金、記念事業)により、鋭意準備を進めているところです。なお、記念式典を令和5年11月12日(日)(予備日11月19日)、母校の体育館で実施する予定です。

創立100周年記念事業は、母校100周年の慶祝及び在籍生徒の学習環境の整備と充実、さらに同窓会活動等の充実発展を意図したものであり、事業完遂に向けて、同窓会員や学校関係者の皆様方のご協力ご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

終わりに、皆様のご健勝、ご多幸と今後ますますのご発展、ご活躍を祈念申し上げます。

「時代のニーズに応える学校」

奈良県立榛生昇陽・宇陀高等学校長 **中川 さやと**



同窓生及び学校関係者の皆様におかれましては、平素より本校教育にご理解と多大なるご支援をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

本校の歴史を振り返ってみますと、女子中等教育の充実を求める気運が高まる中、大正12年に宇陀高等女学校が誕生致しました。

昭和23年の学制改革で教育制度は大きく変わり、校名が奈良県立榛原高等学校と改称され、普通科と家庭科を併せ持つ、中等教育を担う男女共学の学校として、新たに歩み出すこととなりました。平成5年、高齢化社会の進行に伴い、時代の要請を受け、家庭科の中に福祉科が設置されます。平成16年、県立学校の再編統合により室生高等学校と榛原高等学校とが統合し、榛生昇陽高等学校が誕生致します。そして、今年4月、共に大正12年に開校した本校と大宇陀高等学校が統合され両校の歴史と伝統を受け継ぐ、奈良県立宇陀高等学校が開校致しました。宇陀高等学校には、今までの福祉科の流れを汲むこども・福祉科と普通科に加えて、Society5.0時代に活躍する情報活用のスペシャリストの育成を目指す情報科学科が新たに設置されました。さらに、海外からの留学生も含め、高校を卒業した者を対象に、2年間で介護福祉士の資格取得を目指す専攻科も開設しております。

その時々時代のニーズに応じて、宇陀高等女学校、榛原、室生、榛生昇陽さらに宇陀高校へと、実績と伝統を受け継ぎながら、これからも地域で必要とされる学校を目指してまいりますので、ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

母校の近況報告

同窓生及び学校関係者の皆様のご理解・ご支援のもと、本年4月に開校した宇陀高等学校では、現在、1期生と榛生昇陽高等学校の2・3年生が同じ校舎で学んでいます。

本校では、平成16年に「人間探究コース」が設置されて以来、福祉・教育施設との連携・協働や地域でのボランティア活動等に取り組み、令和2年度には同コースの教職員団が文部科学大臣表彰を受け、令和3年度には長年のユニセフ募金への協力により、奈良県ユニセフ協会から本校に感謝状が贈られました。現在、新型コロナの感染状況に注視し、感染対策を徹底しながら少しずつ活動を再開しています。

また、今年4月には、「朝の読書」や「読書に親しむ会」等、生徒たちが読書に親しみ、読書活動への意欲を高める優れた実践として、文部科学大臣より「令和4年度子供の読書活動優秀実践校」の表彰を受けました。

部活動では、運動部において自転車競技部が個人・団体ともにインターハイに出場します。ウエイトリフティング部も73キロ級で1名がインターハイ出場を決めました。その他、陸上競技部が男子ハンマー投、女子5000メートル競歩で近畿大会に出場するなど各部とも活躍しています。

文化部では昨年度に引き続き、吟詠剣詩舞部が全国大会に出場します。また、写真部は、昨年秋に県の総合文化祭に出品した作品が県代表に選ばれ、今年度、全国大会に出品予定です。

皆様には、引き続き生徒たちの多彩な活動をご支援いただきますよう、お願いいたします。



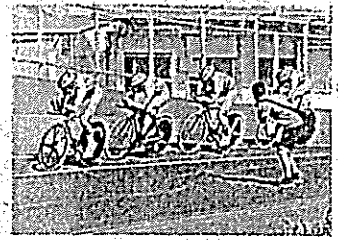
保育施設実習 (こども・福祉科)



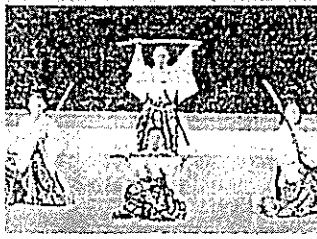
読書に親しむ会



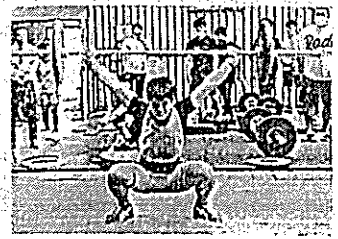
介護実習の授業 (専攻科)



自転車競技部



吟詠剣詩舞部



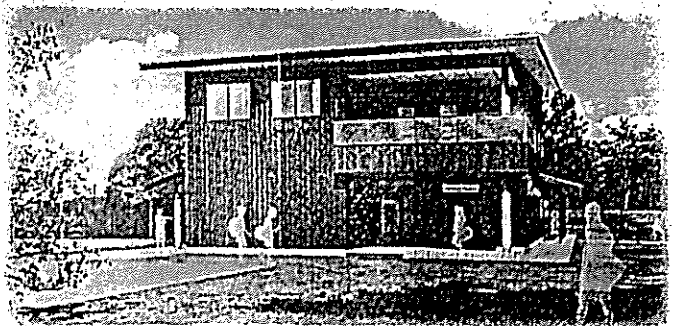
ウエイトリフティング部

「榛生昇陽高校トレーニング施設新築工事」の進捗状況

同窓会館の南側に現在建設中の「クラブハウス」新築工事は、創立100周年記念事業の一環として計画され、榛原高校第9回卒業生 野田順弘(株)オービック代表取締役会長様からのご寄付により、令和4年3月1日に着工し、4月12日に起工式が執り行われ、6月10日に無事上棟式を終えました。総工費は約2億2千万円、竣工は12月10日の予定です。

延べ面積499.42m²地上2階建ての1階部分には、自転車競技部とウエイトリフティング部の室内トレーニング室をメインに、男女トイレ・更衣室を配置し、2階には、ミーティングルーム、男女宿泊用和室とシャワー室の他、ランドリーコーナーも設けており、建物周辺には生徒達が集うスペースとして随所に工夫が施されています。

クラブハウスの愛称は、生徒からの公募により「榛陽館」に決定しており、令和5年度から本格的に稼働する予定です。



クラブハウスイメージ図

あとがき

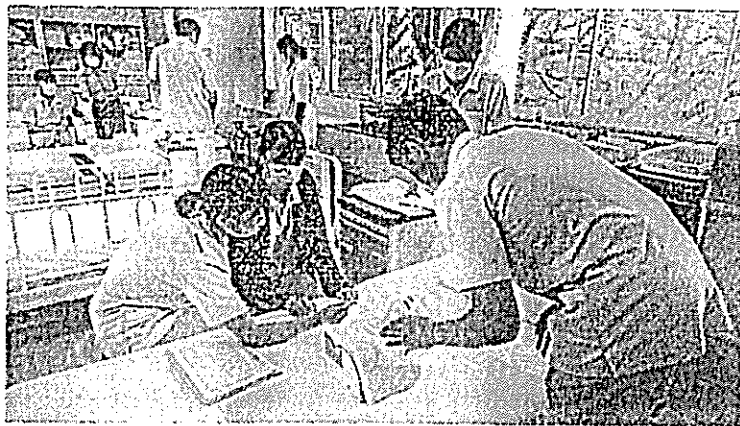
創立百周年記念 特別号の発刊にあたり、ご寄稿・ご協力いただきました方々に、心から感謝を申しあげます。コロナ禍が一日も早く収束し、穏やかな日常に戻りますことを願っています。創立百周年記念事業に向けて、皆様のご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

(編集委員一同)

いのちを大切に作る心と未来を切り拓く力を育む～宇陀高校開校～

奈良県立宇陀高等学校は、大正12(1923)年に開校した県内4番目の旧制中学である宇陀中学校を前身とする大宇陀高校と、同じ年に宇陀高等女学校として創立し榛原高校を経て榛生昇陽高校となった2つの高校の、歴史と伝統、教育内容を継承しながら、令和4(2022)年4月に新しい学校へと生まれ変わった。時代の要請に応じた多様な学びを実現するため、普通科、こども・福祉科に加えて情報科学科を設置し、全学科でICTの活用等を通じて学びを深め、社会の変化に主体的に対応する力と、いのちを大切に作る心を備え、自信と誇りをもって地域に貢献する生徒の育成を目指す。また、宇陀高校開校に先立って、昨年の4月には専攻科介護福祉科が開設された。同科では、高校を卒業した生徒が、2年間で介護福祉士国家資格取得を目指す。卒業後の進路として、資格取得後、介護福祉士として介護施設等に就職する等のほか、社会福祉士の養成をしている4年制大学の3年次への編入学が可能である。

この「こども・福祉科」「介護福祉科」は、いずれも県内公立高校唯一の学科で、かけがえのない人の生命(いのち)を育むことを学ぶことのできる学科であり、本県の健康、福祉、保健・医療の担い手となるべく高い志をもった生徒たちが県内一円から集い、校内は活気に満ちている。そのため、大宇陀校地に最新の介護施設を導入した実習棟を新設し、こども・福祉科の2・3年生及び専攻科はこの新校舎で学ぶ。今年度の高校・専攻科新入生は、コロナ禍において、将来エッセンシャルワーカーとして社会に貢献することを入学前に決意し、本校の門をたたいてくれた。全校生徒が、自分の命、そして周りの人の命を守るため、新しい生活様式を遵守し、基本的な感染予防対策を徹底しながら、学校生活を送っている。



こども・福祉科の実習風景

いのちを大切に作る心と未来を切り拓く力を育む～宇陀高校開校～

宇陀高校には、普通科だけでなく情報科学科やこども・福祉科もあり、奈良県でここだけにしかない学びの環境がある。普通科の目標は、「学びの意味を発見」であり、基礎基本から応用までを学び、進学や就職を目指している生徒に対応する。情報科学科では、主に、理系4年制大学への進学を目指すとともに、学校で学んだことをいかし、小・中学校へのプログラミングの出前授業や、情報コンテンツによるイベントを企画し、地域と連携した学習活動をおこなう。また、就職・進学に有利な国家資格であるITパスポート・基本情報技術者試験の取得もサポートしている。こども・福祉科には「介護福祉系列」「保育・幼児教育系列」「総合福祉・看護医療系列」の3つの系列があり、「いのちを育て いのちを守り いのちに寄り添う」という学びを大切に、高度な専門知識・技能を習得し、幅広い進路選択に対応している。高校を卒業した生徒が在籍する専攻科には留学生もおり、切磋琢磨しながら学んでいる。高校と合同の授業や、地域の方を講師に招いて地域の生活や歴史などを学ぶ授業等を通し、高校生や地域の方と交流を図っている。

部活動の実績は、自転車競技部・ウエイトリフティング部が毎年のように全国大会に出場する。本年度は自転車競技部がポイントレースで昨年度に引き続き優勝、スクラッチも3位という輝かしい成績を残した。また陸上競技部も近畿大会に出場、文化部では写真部、吟詠剣詩舞部が全国大会に出展、出場した。

前身である大宇陀高校、榛生昇陽高校とともに、令和5年で創立百周年を迎える。記念して、榛原高校の卒業生である株式会社オービック会長野田順弘氏よりご寄付を受け、クラブハウス榛陽(はるひ)館を新設する。現在、両校で活動している部活動の伝統を受け継ぎ、宇陀高校として新たな活動に発展させる。



クラブハウス榛陽(はるひ)館

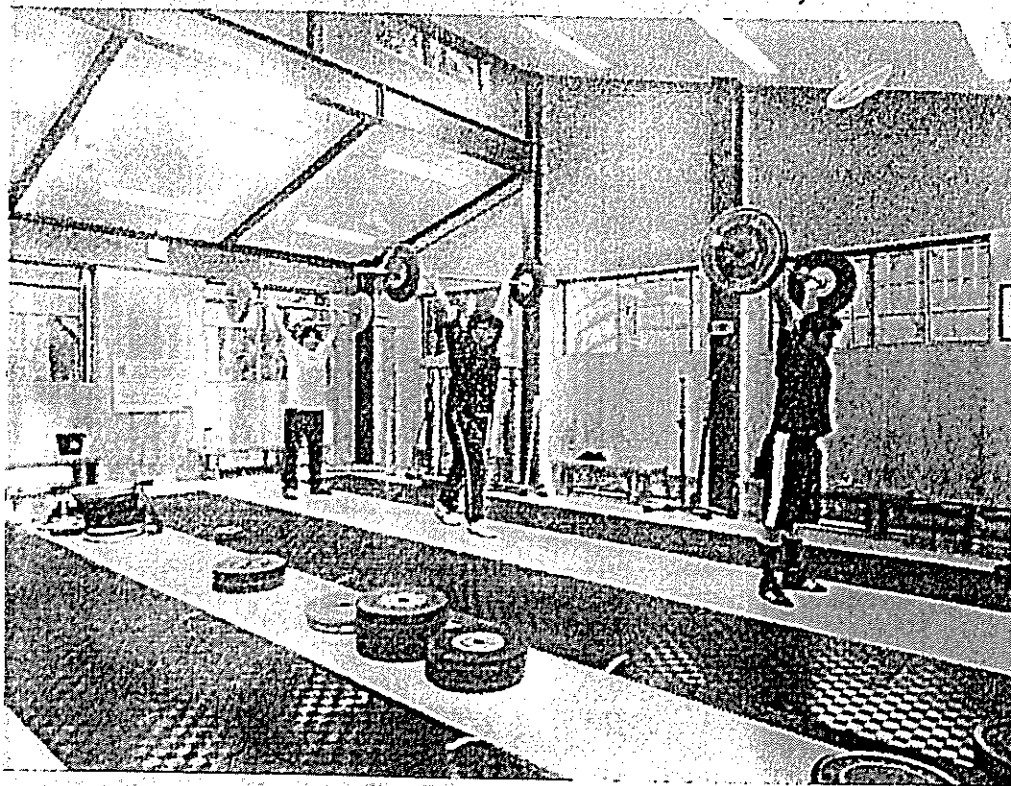
国体、インターハイ、全中優勝者が奈良県庁訪問



「いちご一会とちぎ国体」など3大会各種競技で活躍した奈良県代表選手らが県を表敬し、優勝を報告した=奈良県庁

第77回国民体育大会(いちご一会とちぎ国体)、令和4年度全国高校総合体育大会(インターハイ)、全国中学体育大会で、奈良県代表として全国の頂点を極めた選手や監督らが1日、県庁を訪れ、土屋直毅副知事らに優勝を報告した。

奈良県の榛生昇陽・宇陀高に筋トレ、合宿できる施設完成 OBの野田順弘さん(オービック会長)が寄贈



奈良県宇陀市榛原下井足の県立榛生昇陽・宇陀高校(中川さやと校長)にこのほど、部活動の筋力トレーニングや合宿ができる施設「榛陽(はるひ)館」が完成した。16日はウエイトリフティング部の部員が「一番乗り」でトレーニングルームを使い、完成を喜んだ。

本年度も自転車競技部が個人・団体ともにインターハイに、
ウェイトリフティング部も全国大会の常連校である

(自転車競技部) 令和4年度

◎2022 全日本自転車競技選手権大会 ロード・レース(R4.6 京都府)
Men U17+U15 第2位 自檀地 一

◎第59回近畿高等学校自転車競技大会

(ロード・レースの部 R4.6 宇陀市 トラック競技の部 R4.6 和歌山市)

学校対抗トラック総合	第8位 監督:大和 剛士
1kmタイムトライアル	第5位 植野 志庵
スクラッチ	第7位 自檀地 一
ポイントレース	第3位 犬伏 輝斗
4kmチーム・パーシュート	第4位 榛生昇陽(犬伏・自檀地・吉田・植野)
500m タイムトライアル	第6位 今西 紗楽
2km インディヴィデュアル・パーシュート	第6位 今西 紗楽
学校対抗ロード総合	第2位 監督:大和 剛士
男子個人ロードレース	第3位 犬伏 輝斗 第4位 自檀地 一
女子個人ロードレース	第4位 今西 紗楽

◎2022JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会(R4.7 長野県)
U17女子 2kmインディヴィデュアル・パーシュート 第4位 今西紗楽

◎令和4年度全国高等学校総合体育大会(R4.8 香川県)
ポイントレース 第1位 犬伏輝斗
スクラッチ 第3位 自檀地一

◎第77回国民体育大会(R4.10 栃木県)
少年男子個人ロードレース 第2位 自檀地一

◎第18回全国ジュニア自転車競技大会(R4.10 三重県)
U17男子個人ロードレース 第6位 自檀地一

◎令和4年度近畿高等学校自転車競技専門部新人大会(R4.11 京都府)
ポイントレース 第2位 自檀地一
1kmタイムトライアル 第5位 植野志庵
4km速度競走 第7位 高木春光
500mタイムトライアル 第1位 今西紗楽
2kmインディヴィデュアル・パーシュート 第2位 今西紗楽

(ウエイトリフティング部) 令和4年度

◎第55回近畿高等学校ウエイトリフティング選手権大会奈良県予選 (R4.5 榛生昇陽・宇陀高校)

男子73kg級 堀口 実篤 第1位

男子96kg級 浦野 翔真 第1位

◎第68回全国高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会奈良県予選

(R4.6 ジェイテクトアリーナ奈良)

男子73kg級 堀口 実篤 第1位

◎第55回近畿高等学校ウエイトリフティング選手権大会

(R4.6 京都府宮津天橋高等学校加悦谷学舎)

男子73kg級 堀口 実篤 第6位

◎令和4年度全国高校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会

(R4.8 愛媛県新居浜市 新居浜市民体育館)

男子73kg級 堀口 実篤 第19位

◎第77回国民体育大会ウエイトリフティング競技会 (R4.10 栃木県小山市 小山市立体育館)

少年男子73kg級 堀口 実篤 第14位

◎令和4年度奈良県高校新人戦 兼 第27回近畿高等学校選抜大会県予選

(R4.11 ジェイテクトアリーナ奈良)

男子55kg級 庄司 蓮 第1位

男子73kg級 堀口 実篤 第1位

男子89kg級 田中 瑠哉 第2位

男子96kg級 浦野 翔真 第1位

男子+102kg級 川端 優希 第1位

2年 堀口 実篤が1月21日(土)~22日(日)に滋賀県で行われる、

第27回近畿高校選抜大会 兼 第38回全国高校選抜大会近畿予選 出場

榛生昇陽高等学校等創立百周年記念事業 クラブハウス
名称(愛称)決定について

○野田順弘氏よりクラブハウスを寄贈いただくにあたり名称(愛称)を募集

1 応募方法

- (1) 各クラス・専攻科で各生徒1案を担任に提出
- (2) 担任・副担任でクラス・科案を決定
- (3) (2)で決定した14案を Google Forms に掲載し、生徒・教員・保護者で投票

2 日程

- (1) 令和4年1月中旬 各クラスで案募集→クラス案決定
- (2) 令和4年1月下旬 生徒・教員・保護者投票→2月上旬
- (3) 令和4年3月 愛称投票結果について保護者に通知

3 決定した愛称

(はるひかん)

「榛陽館」

校名「榛生昇陽」の「榛」と「陽」を組み合わせ、「はるひ」と読ませることで、
本校に対する愛校心と温かみを感じさせる愛称となっている。

榛 陽 館

寄贈 榛原高校 第9期 野田順弘

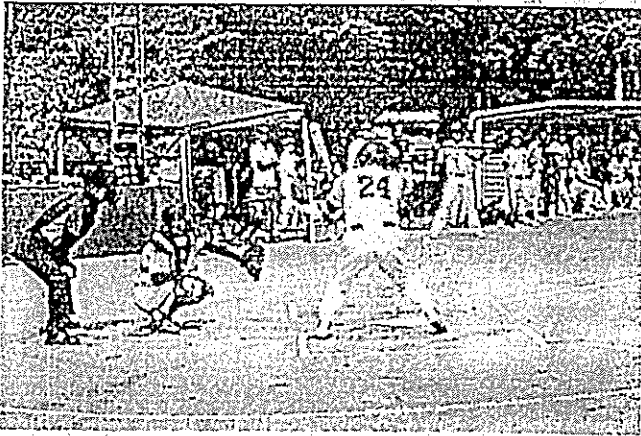
令和4年12月10日 竣工

おじいちゃんの甲子園開催記念 還暦野球大会開催

6月1日

総合グラウンドにおいて、「おじいちゃんの甲子園開催記念還暦野球大会」を開催しました。

本大会には、東京都や大阪府など県外や、県内から合計8チームが集まり、市内からは「宇陀ウェルネス」が参加しました。



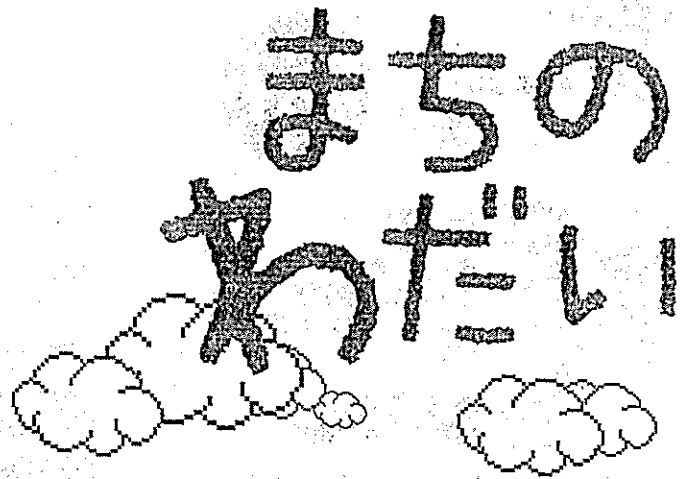
東京都から参加の「品川エンジェルス」のチームメンバーには、球児あこがれの元プロ野球選手が4人在籍されています。その中から今回は、高校時代に3年連続夏の甲子園に投手で出場され、東映フライヤーズにドラフト2位で入団された保坂英二さんと、同じく甲子園選抜大会に出場され、大学時代には江川卓さんとバッテリーを組み、その後ノンプロを経て横浜大洋ホエールズに入団、現役を退かれてからは、60歳まで、大洋・楽天・DeNAのコーチとしてもご活躍された高浦美佐緒さんの2人が参加されました。

当日は好天に恵まれ、選手たちは、あこがれの元プロ野球選手との対戦に心躍らせながら、「健康・生きがい・交流」を育むべく、正々堂々と戦っておられました。

試合後は、市内の良質な温泉で汗を流され、美しい自然環境や歴史的風土とともに、宇陀の魅力を十分に堪能されたと思います。



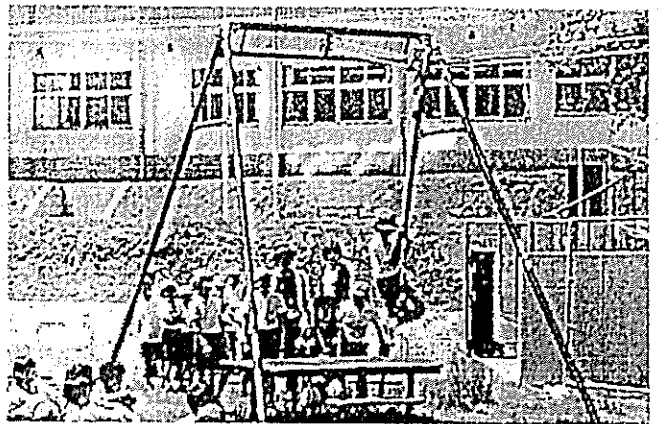
▲東京から参加の「品川エンジェルス」チーム
前列左から保坂さん、高浦さん



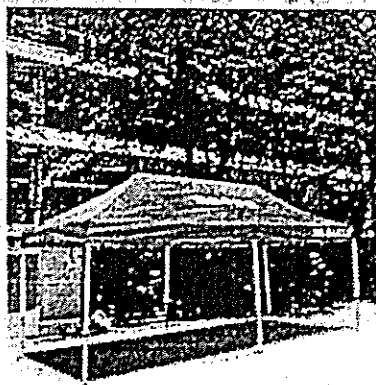
故郷の子どもたちのために 遊具等を寄贈いただきました

東京都在住の野田順弘さん（室生向洲出身）より、室生地域の子どもたちの教育振興や体育施設等の充実のためにいただいたご寄附で、室生中学校にテント4張、室生小学校に遊具（ロープウェイ1連）、室生こども園に遊具（ブランコ1基・のぼり棒1基）を購入しました。

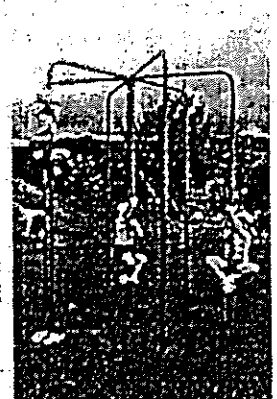
それぞれの物品は、熱中症対策や子どもたちの体力・運動能力の向上のために活用させていただきます。



▲室生小学校の遊具



▲室生中学校のテント



▲室生こども園の遊具

図書館の職員さんに
聞いてみよう!

本のはなし



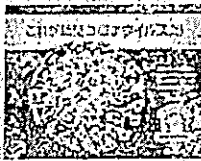
(一般書)

肩・首・腰・頭デスクワーカーの痛み全部とれる
～医師が教える最強メソッド～

著: 遠藤 健司
出版: かんき出版

「肩甲骨はがし」ストレッチで、仕事と人生が好転する! 医学的なエビデンスをもとに、肩こりや首痛、腰痛など、デスクワーカーが抱える悩みを解消し、疲れ知らずで快適な毎日を送るためのマッサージ&ストレッチ法を紹介。(大宇陀図書館所蔵)

(児童書)



おしえて!ジャンボくん新型コロナウイルス1 これ
が新型コロナウイルスだ!

訳: 上田 勇子
出版: 子どもの未来社

世界中に広がり、人々の暮らしや社会に大きな変化をもたらした新型コロナウイルス。1は、新型コロナウイルスについて、たくさんの写真とともにやさしく解説します。(大宇陀図書館所蔵)

図書館からの まとめ知識

Vol.82

開けてお楽しみ 本の福袋

お正月と言えば…福袋。この福袋は、元々福の神として有名な大黒天さまが、打ち出の小槌(こづち)や米俵(こめだわら)とともに抱えている大きな袋のことを呼ぶのだとか。

中央図書館では、今年も子ども向け75袋(赤ちゃんから小学生 期間:1月6～16日)と、大人向け30袋(期間:1月6～8日)の福袋をご用意しています。また、大宇陀図書館でも今年から始めました。この福袋は、図書館職員が選んだおすすめの本をラッピングして貸し出しするものです。数量限定のため、なくなり次第、終了となります。福袋ですので中身は開けてみてのお楽しみです。開けるときのドキドキ感も楽しんでください。

図書館からのお知らせはP26

子どもたちのために 寄贈いただきました

室生向洲出身の株式会社オービック野田順弘会長より、室生地域の子どものための教育振興や体育施設等の充実のためにいただいたご寄附で、室生中学校にミニサッカーゴール1組、体育用マット5枚、室生こども園に砂場ハウス(砂場用具収納庫)1台を購入しました。

それぞれの物品は、子どもたちの体力・運動能力の向上や知育のために活用させていただいています。



宇陀市の魅力を全国に発信

宇陀市在住で、ネクストコモンズラボ興大和事務局/ロート製菓株式会社の生田優希さんが、「ビューティジャパン日本大会2020」に出場し、宇陀市で未来づくりをしているご自身と仲間の取り組みや、企業人でありながら地方での生き方や働き方の可能性をプレゼンされ、準グランプリ(カルチャー部門賞)に輝きました。

本大会は、社会で活躍したい、社会的課題を解決したい女性に、外見・内面の美しさを磨き、キャリア形成を支援し、社会で活躍する女性を増やすことを目的としたものです。

今後も、「宇陀市の魅力を全国に発信し続けたい」という思いのもと、地元で起業を目指す移住者の方の支援をはじめ、様々な活動にご尽力いただきますので、応援の程よろしく申し上げます。



▲準グランプリに輝いた
生田さん(左)



▲市長へ受賞報告のため、
来庁されました。

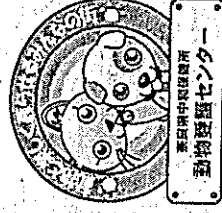


◀活動内容については、
こちらから



うた・アニマルパーク振興室

動物愛護センター

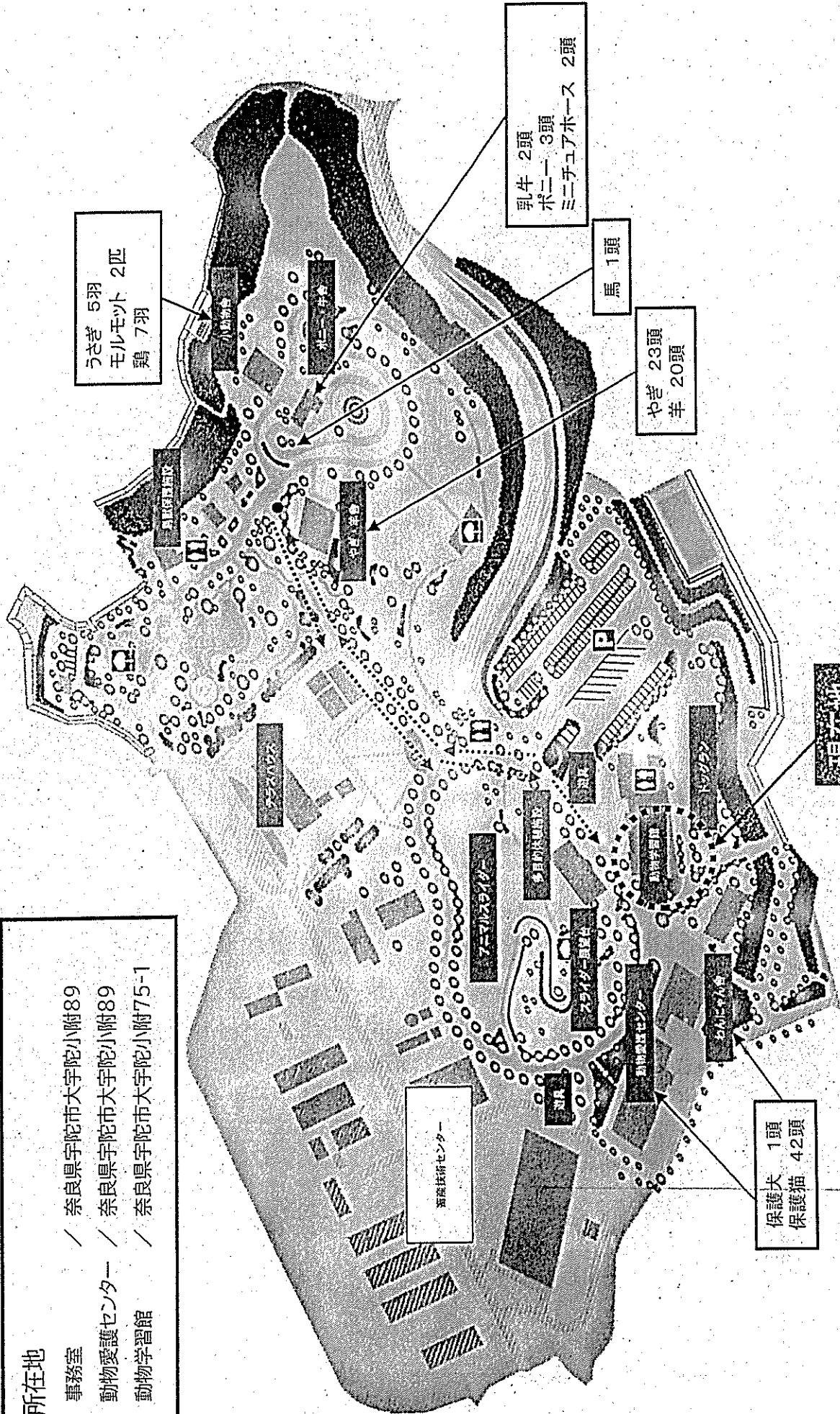


東京都動物愛護センター

令和5年1月17日

I つだ・アニマルパーク平面図

所在地
 事務室 / 奈良県宇陀市大宇陀小附89
 動物愛護センター / 奈良県宇陀市大宇陀小附89
 動物学習館 / 奈良県宇陀市大宇陀小附75-1



遊具の整備

- ・大型遊具 アニマルスライダー2基
- ・遊具 プレイエイパー、クリーパー、アニマルシーソー、ルッキンロックン、スローステップなど

◇面積 (甲子園球場約2.5個分)
 土地 9.9ha / 建物 3,443㎡

II 令和5年は卯年のため、“うさぎ”が注目されています。

ツキ...
 ...
驚かさなよう注意
 ...
 ...
 ...

UDANARA
 2023年 (卯5年)
 今年も、皆さんの飛躍の年になりますように

2023年 新春を迎えて... 2
 民生委員・児童委員を紹介... 4
 原油価格・物価高騰対策事業について... 8
 がんばろう！オール学院！
 最大20%戻ってくるキャンペーン... 9

うだ・アニマルパークのコンチンクアルジャイアントの陽ちゃん (雄) と萌ちゃん (雌)

◇うさぎの飼育状況(全5羽 すべて雌)

①雨	1歳
②陽	1歳
③ちやちや	4歳
④マリモ	4歳
⑤マロン	4歳

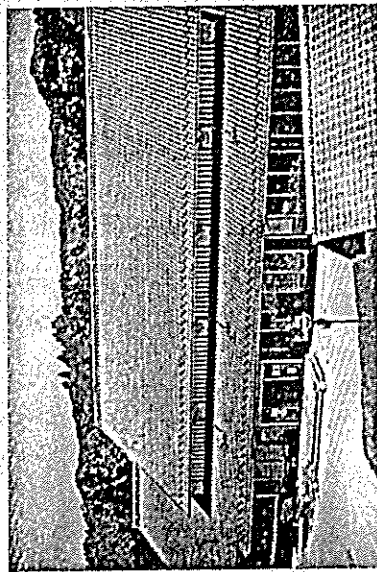
奈良新聞(1面) 令和5年1月1日

広報うだ(表紙) 令和5年1月

Ⅲ うだ・アニマルパークとは

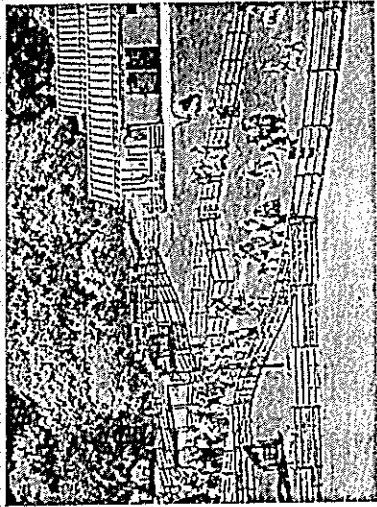
設置目的

- “人と動物が共生できる社会づくり”のための普及・啓発
- パーク周辺を含む県東部地域の振興 ※東部地域 宇陀市、山添村、曾爾村、御杖村、東吉野村
- 人と動物とのふれあいを通して“動物を学び、動物から学ぶ、動物のために学ぶ”
- あらゆるいのちに共感し、いのちを大切にすることを育む「いのちの教育」



動物学習館

※建物は、重要伝統的建造物群保存地区宇陀山地区の街並みをイメージ



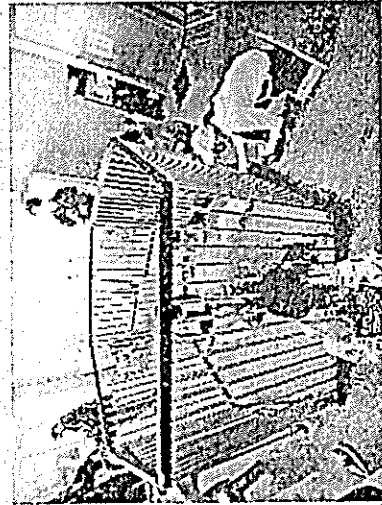
来園者のにぎわい



遠足風景



にゃん友ルーム



サマースクール



いのちの教育(小学生プログラム)

IV 施設概要

1 営業日

※公園については、都市公園のため年中開放

(1) 動物学習館

開館時間 / 9時～17時

休館日 / 月曜日(月曜日が休日の場合は翌平日)

年未年始(12月28日～1月4日)

入館料 / 無料(ただし、一部有料体験あり)

(2) 動物愛護センター

開所時間 / 8時30分～17時15分

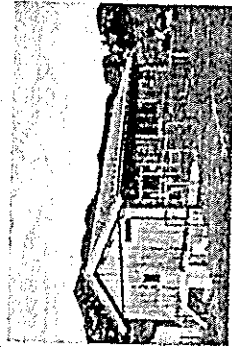
休所日 / 年未年始(12月29日～1月3日)



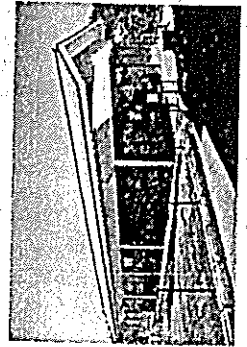
ふれあい広場



展望広場



テラスハウス



わんにゃん舎

2 主な施設

(1) 都市公園ゾーン……………(土地面積)8.2ha / (建物面積)1,874平方メートル

- ・動物学習館 展示エリア、映像エリア、学習室、加工体験室、トイレなど
- ・多目的休憩施設 多目的休憩所 売店など
- ・ふれあい広場 飼育体験舎、放牧地、パドック、自然生態園、展望台など
- ・展望広場 展望台、散策道、遊具広場など
- ・テラスハウス 休憩所、情報発信、キッチン、トイレなど

(2) 動物愛護センターゾーン……………(土地面積)1.7ha / (建物面積)1,569平方メートル

- ・動物愛護センター 事務・飼養棟、臨床・管理棟、わんにゃん舎、ドッグランなど

V 職員構成・業務内容

<p>職員構成 全45名</p>	<p>室長 葛本 雅則</p> <p>(地域振興担当)室長補佐 森口 麻美</p> <p>地域振興係</p> <ul style="list-style-type: none"> 係長(事務職) 1 主任主査(事務職) 1 主任主事(事務職) 1 主任技能員(技労職) 2 会計年度任用職員(動物学習館) 3 会計年度任用職員(事務職) 1 会計年度任用職員(技労職) 9 会計年度任用職員(東部振興アドバイザー(宇陀土木:兼)) 1 <p>計18名 + 兼務1名</p>	<p>(動物愛護管理担当)室長補佐 長石 貞保</p> <p>動物愛護管理係</p> <ul style="list-style-type: none"> ※副主幹兼係長(獣医師) 1 主任主査(教諭) 1 ※主査(獣医師) 2 ※主査(獣医師)(育休) 1 主査(教諭) 1 ※主任技師(獣医師) 2 ※主任技能員(技労職) 1 ※再任用職員(技労職) 3 会計年度任用職員(技労職) 10 長期研修生(教諭) 1 <p>※印は、中和保健所動物愛護センター兼務</p> <p>計22名 + 長期研修生1名</p>
<p>事務分掌</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予算、決算、県議会、その他庶務等 ・東部振興 ・「うだ」の魅力発信事業 ・うだ・アニマルパークを拠点とした東部地域魅力発信強化事業 ・施設整備等 ・集客イベントの企画等 ・公園の維持、管理等 ・動物とのふれあい体験等 ・畜産物などの加工体験等 ・他の係の所管に属しないこと ・その他 	
<ul style="list-style-type: none"> ・動物の保管等 ・動物愛護啓発 ・動物譲渡事業 ・狂犬病予防、動物愛護 ・各保健所等との連絡調整等 ・「いのちの教育」の推進 ・県及び市町村教育委員会との連携 ・係に属する施設整備 ・その他 		

VI イベントの実施状況

1 レギュラーイベント

バター作り体験(写真①)、やぎ・羊のえさやり体験(写真②)、ポニー撮影体験、模型を使った乳搾り体験(写真③)、やぎの橋わたり(写真④)など

2 月例イベント

羊の毛刈り体験(写真⑤)、桜もち作り体験、アイス作り体験、木工(時計・貯金箱)体験(写真⑥)、クリスマスリース作り体験など

3 地域と連携したイベント

ゴールデンウィークイベント(写真⑦)、ほんのりあんどん(写真⑧)、絵画コンクール(写真⑨)、新春書き初め大会(写真⑩)、うだ・アニマルパークぱくぱくパーク(写真⑪)など

4 東部市・村と連携したイベント(令和4年度の新たな取り組み)

うだ・アニマルパークの来園者に対し、東部5市・村と連携したアニマルシエを毎月第3土・日に実施するなど、東部市・村の魅力をPR(写真⑫)

5 動物愛護関係イベント

プレーメンの音楽隊(写真⑬)、動物愛護週間イベント、サマー(ウインター、スプリング)スクール、動物愛護の絵コンクール(表彰式) (写真⑭)、犬とのふれあい教室、にゃん友タイムなど

6 その他

マルシエ・ド・ママンinうだ・アニマルパーク(写真⑮)など



写真①



写真②



写真③



写真④



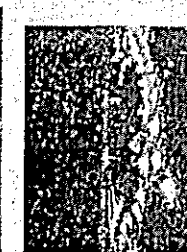
写真⑤



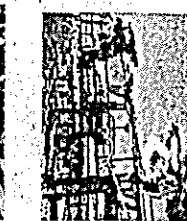
写真⑥



写真⑦



写真⑧



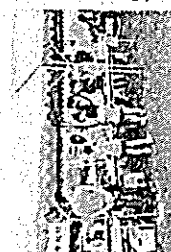
写真⑨



写真⑩



写真⑪



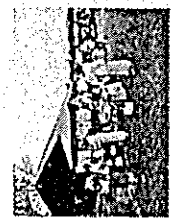
写真⑫



写真⑬



写真⑭



写真⑮

VII 動物愛護事業

1 適正飼養の普及啓発

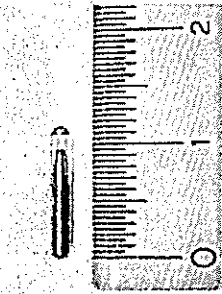
- ・「しつけ教室」の実施
- ・「ドッグラン」の開設
- ・マイクロチップ装着の促進
- ・「終生飼育」「適正飼育」の啓発



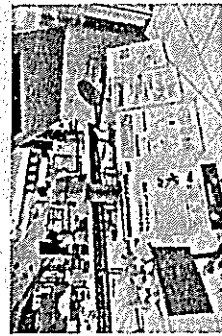
しつけ教室



ドッグラン



マイクロチップ



啓発活動

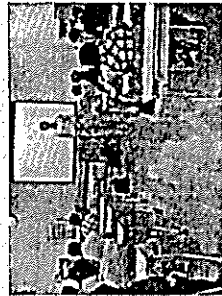
(考えよう人とペットの災害対策)

2 動物の譲渡事業

- ・「にゃん友ルーム」の開設
- ・「譲渡講習会」の実施 ※猫については、県内の保健所でも実施
- ・「団体等を介した動物譲渡」の促進
- ・(猫のみ)「離乳期育成ボランティア制度(ミルクボランティア)」の導入
- ・パーク内外における譲渡促進に向けた取り組み



にゃん友ルーム



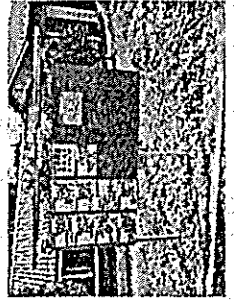
譲渡講習会



譲渡



PR活動(パーク内)



パーク内での譲渡促進

VIII 「いのちの教育」事業の展開

1 背景

○殺処分の削減をめざす

○子どもを取り巻く社会環境の変化

・自然との関わりが減少
・生命尊重の希薄化

※文部科学省学習指導要領

・生命に関する学習活動

・他者への理解や思いやりの心を醸成する道徳教育の充実

2 「いのちの教育」の誕生

○定義 …… あらゆるいのちに共感し「いのち」を大切にすることを育む教育

○ねらい …… ①動物に対する思いやりを深め、「いのちの大切さ」を充実させる。

②他者との関わりを深めながら情操を豊かにする。

③畜産動物と人との関わりについて理解を深める。

④野生動物を含む自然環境の保護についての理解を深める。

3 効果

①他者への共感する感性と自他の生命を尊重する態度の育成

②思いやり、協調性、道徳的心情などの豊かな人間性の基盤構築

③社会的規範意識の醸成及び向上

対策(教育)の必要性

○他者への理解、共感・思いやりの心・規範意識の醸成

奈良県の特徴

○教員と獣医師等が連携して行う授業

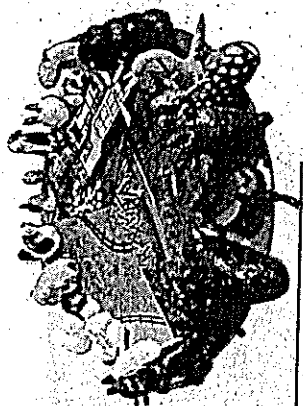
○張り子の動物を使用

○地域振興の推進

心豊かな社会の構築

持続可能な未来社会の担い手の育成

(SDG's)



VIII 「いのちの教育」事業の展開

1 「いのちの教育」プログラムの展開

- ・小学生プログラム
- ・中学生プログラム

2 遠足・校外学習の受け入れ

- ・体験
バター作り、ポニーとの記念撮影、羊・山羊のえさやり

- ・学習
「いのちの教育」プログラム、お試し授業
ワークシヨップ
スタンブラリー、クイズラリー

3 イベント(サマー(ウインター、スプリング)スクール)の実施

- ・張り子の動物づくり
- ・犬猫のお世話のお手伝い
- ・うさぎや山羊の飼育
- ・ワンだふるクラス(犬とのふれあい教室)

4 講演会・研修会の開催

- ・環境省、全国獣医師会等と連携した情報発信
- ・教員向け・全国自治体職員向け研修会などを展開し、「いのちの教育」を推進

5 職場体験・インターンシップの受け入れ

- ・飼養動物管理、イベント対応、中学生プログラム受講



小学生プログラム



小学生プログラム(出前授業)



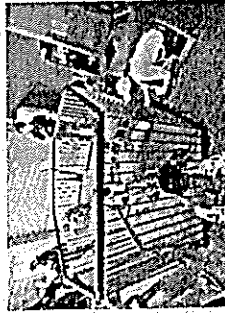
張り子の動物づくり



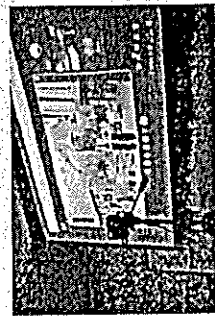
犬とのふれあい教室



サマースクール



サマースクール



教員向け研修(オンライン)



教員向け研修

考
參

I 来園者の推移

年度	来園者数	ほんのり あんどん (2日間)	ゴールデン ウィーク (3日間)	ぱくぱくパーク (1日)	マルンエド ママシ (1日)	絵画コンクール (2日間)	書き初め 大会 (1日)	餌やり体験 (開館日)	バター作り (開館日)
令和 4年度	130,596人 ※令和4年12月末	3,363人	19,718人	2,740人	※令和5年3月 実施予定	154人 ※雨天により1日	87人	64,374人 ※令和4年12月末	1,928人 ※令和4年12月末
令和 3年度	164,370人	800人 ※コロナにより 冬期1日	8,630人	3,950人 ※2日間	4,030人	294人	90人	87,203人	822人
令和 2年度	168,260人	3,257人	800人	—	3,350人	345人	84人	50,118人	1,796人
令和 元年度	191,110人	2,290人	28,030人	—	—	275人	71人	93,567人	8,826人
平成 30年度	216,380人	3,380人	29,370人	—	—	292人	56人	119,747人	10,771人
平成 29年度	223,480人	3,180人	26,330人	—	—	91人	35人	131,925人	12,311人

Ⅱ 犬・猫の取扱頭数について

区分	犬・猫	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収容頭数	飼い主から					
	犬	58頭	56頭	40頭	16頭	31頭
	猫	88頭	140頭	64頭	53頭	58頭
	計	146頭	196頭	104頭	69頭	89頭
所有者不明	犬	120頭	108頭	81頭	60頭	71頭
	猫	889頭	727頭	823頭	650頭	674頭
	計	1,009頭	835頭	904頭	710頭	745頭
計	犬	178頭	164頭	121頭	76頭	102頭
	猫	977頭	867頭	887頭	703頭	732頭
	計	1,155頭	1,031頭	1,008頭	779頭	834頭
返還数	犬	38頭	36頭	32頭	18頭	17頭
	猫	3頭	4頭	3頭	4頭	3頭
	計	41頭	40頭	35頭	22頭	20頭
譲渡数	犬	71頭	44頭	39頭	33頭	29頭
	猫	68頭	90頭	127頭	198頭	160頭
	計	139頭	134頭	166頭	231頭	189頭
安楽死数	犬	94頭	77頭	48頭	33頭	53頭
	猫	906頭	767頭	754頭	512頭	557頭
	計	1,000頭	844頭	802頭	545頭	610頭

Ⅲ 来園者アンケート

※近畿大学経営学部学生が令和3年10月17日から12月26日まで
パーク内において来園者402人を対象に実施

1 来園者の構成

構成	回答者数	割合
ひとり	9人	2.2%
友人	38人	9.5%
家族(夫婦)、恋人・カップル	42人	10.4%
家族(親子)	251人	62.4%
家族(祖父母と孫)	24人	6.0%
家族(祖父母と親子)	44人	10.9%
その他	14人	3.5%
合計(重複回答20名含む)	402人 (422人)	

2 来園者の年齢層

年齢層	回答者数	割合
0～1歳(乳児)	58人	4.0%
2～3歳(幼児・年少)	130人	8.9%
4～6歳(年中・年長)	180人	12.4%
7～8歳(小学1～2年)	119人	8.2%
9～10歳(小学3～4年)	82人	5.6%
10～12歳(小学5年～6年)	50人	3.4%
13～15歳(中学生)	12人	0.8%
高校生以上	19人	1.3%
20歳代	36人	2.5%
30歳代	319人	21.9%
40歳代	197人	13.5%
50歳代	99人	6.8%
60歳代以上	156人	10.7%
合計	1,457人	

Ⅲ 来園者アンケート

※近畿大学経営学部学生が令和3年10月17日から12月26日まで
パーク内において来園者402人を対象に実施

3 来園時間

来園時間	回答者数	割合
9:00～	65人	16.2%
10:00～	129人	32.1%
11:00～	82人	20.4%
12:00～	83人	20.7%
13:00～	26人	6.5%
14:00～	7人	1.7%
15:00～	8人	2.0%
16:00～	0人	0.0%
合計(無回答2人を含む)	402人	

4 滞在時間

滞在時間	回答者数	割合
1時間未満	27人	6.7%
1～2時間	149人	37.1%
2～3時間	147人	36.6%
3～4時間	56人	13.9%
4～5時間	14人	3.5%
5時間以上	5人	1.2%
合計(無回答4人を含む)	402人	

Ⅲ 来園者アンケート

※近畿大学経営学部学生が令和3年10月17日から12月26日まで
パーク内において来園者402人を対象に実施

5 出発地

(全体)

出発地	回答者数	割合
奈良県内	272人	67.7%
近畿	106人	26.4%
滋賀県	1人	0.2%
京都府	22人	5.5%
大阪府	75人	18.7%
兵庫県	8人	2.0%
近畿以外	21	5.2%
三重県	19人	4.7%
愛知県	2人	0.5%
無回答	3人	0.7%
合計	402人	100%

(県内)

出発地	回答者数	県内割合	全体割合
宇陀市	74人	27.2%	18.4%
奈良市	41人	15.1%	10.2%
大和高田市	11人	4.0%	2.7%
大和郡山市	4人	1.5%	1.0%
天理市	8人	2.9%	1.9%
橿原市	35人	12.9%	8.8%
桜井市	24人	8.8%	6.0%
五條市	2人	0.7%	0.5%
御所市	7人	2.6%	1.7%
生駒市	7人	2.6%	1.7%
香芝市	18人	6.6%	4.5%
葛城市	2人	0.7%	0.5%
平群町	3人	1.1%	0.8%
斑鳩町	7人	2.6%	1.7%
川西町	1人	0.4%	0.3%
田原本町	8人	2.9%	2.0%
曽爾村	1人	0.4%	0.3%
高取町	3人	1.1%	0.8%
上牧町	4人	1.5%	1.0%
王寺町	6人	2.2%	1.5%
広陵町	2人	0.7%	0.5%
大淀町	1人	0.4%	0.3%
下市町	1人	0.4%	0.3%
東吉野村	2人	0.7%	0.5%
奈良県計	272人	100%	67.7%

Ⅲ 来園者アンケート

※近畿大学経営学部学生が令和3年10月17日から12月26日まで
パーク内において来園者402人を対象に実施

6 来園回数と来園頻度

来園回数	回答者数	割合
初めて	102人	25.4%
2回目	46人	11.4%
3～5回目	88人	21.9%
6～10回目	72人	17.9%
11回以上	62人	15.4%
回答合計	402人 (無回答32人含む)	

来園頻度	回答者数	割合
ほぼ毎日	2人	0.7%
週に1～2回	10人	3.3%
月に1～2回目	35人	11.6%
6ヶ月に1～2回	77人	25.5%
年に1～2回	95人	31.5%
数年に1回	35人	11.6%
その他	1人	0.3%
	302人 (無回答47人含む)	

